

令和6年度

上尾市文化財保護審議会
委員委嘱式 第1回会議

日 時 令和6年8月7日(水)
午後2時から
場 所 上尾市役所7階 教育委員室

【 次 第 】

上尾市文化財保護審議会 委員委嘱式 次第

- 1 開式
- 2 委嘱状の交付
- 3 教育長挨拶
- 4 閉式

第1回上尾市文化財保護審議会 次第

- 1 開会
- 2 委員及び職員紹介
- 3 委員長及び職務代理者の選出
- 4 委員長及び職務代理者の就任挨拶
- 5 議事
 - (1) 令和5年度の主な文化財保護事業について
 - (2) 令和6年度の文化財保護事業の進捗状況について
 - (3) 八枝神社文書指定について
 - (4) その他
- 6 閉会

上尾市文化財保護審議会 委員委嘱式

1 開式

2 委嘱書の交付

任期：令和6年4月1日から令和8年3月31日まで

氏名	専門分野	備考
犬飼 大	歴史（近代史）	再任
井上 肇	考古	再任
岸 清俊	歴史（近世史）	再任
小島 孝夫	民俗	再任
後藤 知美	民俗	新任
杉山 正司	歴史（近世史）	再任
遠山 正博	工芸品（刀剣）	再任
村田 章人	考古	新任

五十音順

3 教育長挨拶

4 閉式

上尾市文化財保護審議会 第1回会議

1 開会

2 委員及び職員紹介

○ 委員

氏 名	専 門 分 野
犬飼 大	歴史（近代史）
井上 肇	考古
岸 清俊	歴史（近世史）
小島 孝夫	民俗
後藤 知美	民俗
杉山 正司	歴史（近世史）
遠山 正博	工芸品（刀剣）
村田 章人	考古

○ 教育長・職員

氏 名	職 名
西倉 剛	教 育 長
加藤 浩章	教育総務部 部長
池田 直隆	〃 次長
白石 恵子	生涯学習課 課長
小宮山 克巳	〃 副主幹
長谷尾 篤	〃 主任
加瀬 優	〃 主任
齋藤 梓	〃 主任

3 委員長及び職務代理者の選出について（互選）

委員長 _____ 職務代理者 _____

4 委員長及び職務代理者の就任あいさつ

3 議 事

(1) 令和5年度の主な文化財保護事業について（報告）

ア. 文化財調査・保存事業

①文化財保存等事業費補助金

下表のとおり

対象文化財	事業内容	総事業費	国補助金	市補助金	所有者負担額
菅谷の大山灯籠行事	灯籠修理	207,900円	176,000円	15,950円	15,950円
町谷の大山灯籠行事	灯籠修理	352,000円	299,000円	26,500円	26,500円
上町の祭りばやし	太鼓修理	537,020円	456,000円	40,510円	40,510円
月待供養塔（中分）	覆屋修理	343,761円	対象外	171,880円	171,881円

※国庫補助金は無形民俗文化財を対象とし、用具の修理に要する経費の85%を上限に交付されるもの。

②無形民俗文化財継承活動助成交付金の交付

「上尾市指定無形民俗文化財継承活動助成交付金交付要綱」に基づき、県指定・市指定無形民俗文化財の6団体に対し、交付金を交付した。

※30,000円×6団体=180,000円

※2団体（堤崎はやし連、川の大じめ保存会）は未申請のため交付していない。

③指定文化財標柱の修繕

経年劣化により判読困難な文化財標9基の板面修繕を実施した。

文化財の名称	標柱所在地	文化財の名称	標柱所在地
①鈴木荘丹俳諧歌碑	馬蹄寺	⑤原市山車彫刻(2区)	氷川神社（原市）隣
②藤波のささら獅子舞	天神社	⑥原市山車彫刻(3区)	原市三区公民館
③車地蔵	愛宕神社（堤崎）	⑦弘長板碑	楞嚴寺
④向山不動堂彫刻	向山不動堂	⑧西尾隠岐守一族累代の墓	妙嚴寺
		⑨伊藤由哉碑と墓	

④指定文化財の保存、文化財収蔵庫の管理

●馬蹄寺のモクコク（県指定天然記念物）の害虫駆除

（6月30日、7月28日、3月29日の年3回実施）

●殿山古墳（市指定史跡）の伐採・剪定（3月28日実施）

●文化財収蔵庫の害虫防除（8月29日実施）

⑤無形民俗文化財の公開

・令和5年4月2日（日）「畔吉の万作踊り」（畔吉・諏訪神社）

・令和5年7月16日（日）「平方のどろいんきょ」・「武州平方箕輪囃子」（平方・上宿地区）

- ・令和5年10月1日（日）「藤波のささら獅子舞」（藤波・天神氷川八幡合社）
- ・令和5年10月15日（日）「畔吉ささら獅子舞」（畔吉・諏訪神社）

イ. 埋蔵文化財調査事業

- ①試掘調査 32件（重機25件、人力7件）
- ②発掘調査 なし
- ③遺物整理 平方石井戸遺跡、畔吉前原遺跡
- ④変更・増補 1件 荒井I遺跡新規台帳記載

ウ. 「上尾の摘田・畑作用具」保存活用事業

●「上尾の摘田・畑作用具」保存活用検討委員会の開催

【日 時】令和5年7月7日（金）

【会 場】上尾公民館 講座室402

【内 容】諮問事項の審議、文化財の保管状況及び活用事業の報告

●カラウス保存修理事業

国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」のうちの1点であるカラウスを対象に保存修理を行った。修理は当該資料の現状維持を基本方針とし、今後の劣化が進行することを防止するため、石材強化剤による強化処理を中心に実施した。

●上尾市自然学習館展示施設リニューアル事業…別紙①

エ. 文化財保護啓発事業

①あげお歴史セミナー

期日	事業内容	参加人数
第1回 6/9(金)	かがやキッズ DAY 子ども歴史教室 「昔のくらしを体験しよう！一農とくらしのワークショップ」 会場：自然学習館 多目的室	6組15人 (児童10人+保護者5人)
第2回 8/9(水)	夏休み子ども歴史教室 会場：自然学習館 多目的室	3組8人 (児童4人+保護者4人)
第3回 2/20(火)	「上尾宿と聚正義塾を訪ねて」 会場：プラザ22 会議室（講座）、 氷川鋤神社、遍照院等（現地見学）	19人

②市制施行65周年記念 上尾市民俗芸能公演

期日	事業内容	来場者数
9/2(土)	演目：畔吉ささら獅子舞（市指定） / 畔吉ささら獅子舞保存会 畔吉の万作踊り（市指定） / 畔吉源太踊万作踊保存会 藤波の万作踊り（市指定） / 藤波の餅つき踊り保存会 浅間台の祭りばやし（市登録） / 浅間台囃子保存会 会場：上尾市コミュニティセンター ホール	377人

③文化財展

期日	事業内容	来場者数
8/4(金) ～8/6(日)	市制施行65周年記念今昔写真パネル展「上尾のあゆみ」 本市の歴史を約70枚の写真パネルで振り返る展示（広報広聴課との共催） 会場：アリオ上尾1階 OCHANOMA 催事場	1,104人
10/7(土) ～10/22(日)	上尾の昔・暮らし展～摘田・畑作用具～ 「上尾の摘田・畑作用具」と同種類の農具（指定資料以外）や解説パネルを展示（上尾市地域振興公社との共催） 会場：自然学習館	1,595人

④あげお市政出前講座等の実施

〈実施結果一覧〉

期日	依頼者	内容	受講者数
4/5(水)	職員課・令和5年度新規採用職員研修	上尾の歴史と文化	53人
4/27(木)	向山ボランティアの会	上尾の遺跡	45人
6/14(水)	いきがい愛の会	上尾の歴史（近代）	20人
8/3(木)	大石公民館	夏休みこども歴史教室 ～考古学者になろう！～	20人
9/27(水)	上尾郷土史会	上尾の遺跡 遺跡の発掘から分かったこと	10人
9/28(木)	弁財ふれあい会館	弁財の歴史	20人
10/13(金)	上尾市図書館	上尾の歴史をデジタルで見よう	11人
1/21(日)	OKEGAWA hon プラス+ (おけがわマイン内)	5自治体で見つけた！かわいい文化財 ※桶川市・北本市・鴻巣市・伊奈町と合同実施	40人
1/23(火)	大石南小学校	上尾の歴史（明治以降の歴史と昔の道具）	45人
3/1(金)	社協原市支部交流会事務局	上尾の歴史（江戸時代・明治時代）	35人

オ. 歴史資料調査事業

①歴史的価値のある公文書の収集

保存年限5年(平成29年度)、10年(平成24年度)の公文書、及び保存年限11年以上(平成14・24年度)で廃棄見直しをされた公文書を計436点収集した。

②八枝神社文書の整理

(2) 令和6年度の文化財保護事業の進捗状況について

ア. 文化財調査・保存事業

①文化財の指定・登録

「八枝神社文書」について⇒(3)で報告

②文化財保存等事業費補助金

令和6年度は実施なし

③無形民俗文化財継承活動助成交付金の交付

指定無形民俗文化財の保存のため、「上尾市指定無形民俗文化財継承活動助成交付金交付要綱」に基づき、市・県指定の無形民俗文化財の保持団体6件に対し交付金を交付した。

【交付団体】平方のどろいんきょ保存会（県指定）、藤波のささら獅子舞保存会（市指定、以下同）、畔吉ささら獅子舞保存会、藤波の餅つき踊り保存会、畔吉源太踊万作踊保存会、武州平方箕輪囃子連

※30,000円×6団体=180,000円

※2団体（堤崎はやし連、川の大じめ保存会）は未申請のため交付していない。

④文化財状況調査

文化財の円滑な保存・管理のため、県指定及び市指定・登録文化財を対象に文化財状況調査を実施した。

<状況調査件数>

文化財種別	文化財件数	状況調査件数 (所有者が個人・団体のもの) []は無形民俗文化財保持団体	市教委管理件数
国指定文化財	1	0	1
県指定文化財	5	4 [1]	1
市指定文化財	84	67 [7]	17
市登録文化財	39	39 [30]	0
計	129	110 [38]	19

※無形民俗文化財については、保存会構成員や活動状況も報告を受け状況を確認している。

⑤無形民俗文化財の公開

- ・令和6年4月7日（日）「畔吉の万作踊り」（畔吉・諏訪神社）
- ・令和6年7月14日（日）「平方のどろいんきょ」「武州平方箕輪囃子」（平方・上宿）
- ・令和6年10月6日（日）「藤波のささら獅子舞」（藤波・天神氷川八幡合社）
- ・令和6年10月13日（日）「畔吉ささら獅子舞」（畔吉・諏訪神社）

<市教委管理の文化財について>

保管場所	保管件数	保管している文化財
文化財整理室 (平方小学校内)	6	殿山遺跡出土旧石器 [県] / 後山遺跡出土関山式土器 / 薬師耕地前遺跡出土品 / 正平七年銘板石塔婆 / 西通 I 遺跡出土灰釉草葉文瓶(自然学習館に展示中) / 坂上遺跡方形周溝墓出土品
市史担当分室 ・文化財資料室 (大石南小学校内)	11	上尾の摘田・畑作用具 [国] / 矢部家文書 / 須田家文書 / 小川家文書 / 神田家文書 / 南村須田家文書 / 上尾宿助郷関係(壺丁目村)文書 / 平方村石倉家文書 / 山崎家文書 / 五榜の高札 / 須田家の神楽師用具
上尾市役所内	2	瓦葺懸渡井官費嘗繕之真景図 / 伝どんどん山出土海獣葡萄鏡

※古文書は年2回防虫剤の入れ替えを行いながら、資料の確認を行っている。

⑥指定文化財の保存、文化財収蔵庫の管理

- 馬蹄寺のモクコク(県指定天然記念物)の害虫駆除

【6月13日に1回目、6月29日に2回目実施、7月19日に3回目実施済
4回目実施予定(時期未定)】

- 殿山古墳(市指定史跡)の伐採・剪定(2~3月に実施予定)
- 文化財収蔵庫の害虫防除(8月実施予定)

⑦文化財説明板・標柱の整備

- 説明板の整備(修繕1か所)
- 標柱の整備(新設1か所・修繕8か所予定)

イ. 埋蔵文化財調査事業

- ①試掘調査 10件(7月20日時点)
- ②発掘調査 計画なし(7月20日時点)
- ③遺物整理 平方石井戸遺跡、畔吉前原遺跡

ウ. 「上尾の摘田・畑作用具」保存活用事業

- ①国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」整理作業 用具のクリーニング、状態確認作業の実施
- ②上尾市自然学習館「摘田と上尾の歴史・文化」コーナーを活用した啓発事業の実施
- ③保存・活用計画・・・別紙②

エ. 文化財保護啓発事業

①歴史セミナーの開催

期日	内容・会場	参加人数	講師
第1回 6/14(金)	かがやキッズ DAY 子ども歴史教室 「あげお歴史探検ツアー（上平地区）」 内容：上尾市、上平地区に関する講義 上平公民館周辺を歩いて巡り、文化財について説明。 会場：上平公民館 講座室1・2	6組15人 (児童9人 保護者6名)	生涯学習課 職員
第2回 10月中旬	上尾の文化財展「上尾の昔・暮らし展」に合わせて実施予定 会場：自然学習館講座室	未定	未定
第3回 2月下旬	「新指定文化財の紹介展示(仮)に合わせて実施予定 会場：未定	未定	岸 清俊委員

②文化財展

期日	事業内容
10/5(土) ~10/20(日)	「上尾の昔・暮らし展」(上尾の摘田・畑作用具展) 指定後に収集した摘田・畑作用具や、昔の暮らしの中で使われていた道具を展示 会場：自然学習館 展示ロビー
2/20(木) ~2/26(水)	「新指定文化財の紹介展示(仮)」 令和4年度に文化財指定され、令和5年度に修繕した「山崎家文書」及び関連資料を展示 会場：市役所ギャラリー

③あげお市政出前講座等の実施

期日	依頼者	内容	受講者数
4/3(水)	職員課・令和6年度新規採用職員研修	上尾の歴史と文化	53人
4/30(火)	原市公民館	上尾の遺跡	16人
6/12(水)	三井サニータウン永楽会	上尾の遺跡・文化財・歴史・民俗	30人
6/18(火)	あげおアッピーガイドの会	上尾の歴史概観、上尾・平方・原市について、上尾の民俗行事・芸能	15人
6/29(日)	埼玉民俗の会	上尾の民俗	20人
8/9(金)	領家まちづくり協議会	上尾の遺跡「考古学者になってみよう！」	30人
10/29(火) 10/31(木)	大石公民館	上尾の遺跡「拓本教室(仮)」	20人

オ. 歴史資料調査事業

①歴史的価値のある公文書の収集・整理

保存年限5年(平成 30 年度)、10年(平成 25 年度)の公文書、及び保存年限11年以上で廃棄見直しをされた公文書を収集する。

②歴史的価値のある公文書の収集・整理

令和6年4月1日に「上尾市公文書管理条例」が施行されたことに伴い、従来収集してきた公文書の取り扱いについて、文書所管課(総務課)と協議しながら整理作業を実施。

③岡田家文書の整理

令和6年2月・5月に寄贈を受けた西貝塚の岡田家文書の整理作業を実施。

(3) 八枝神社文書指定について

…別紙③

(4) その他

配布物

- ・『上尾の文化財保護(年報) 令和5年度』
- ・『埼玉文化財だより』埼玉県文化財保護協会時報 第 147 号 埼玉県文化財保護協会
- ・『埼玉の文化財』第 64 号 埼玉県文化財保護協会



自然学習館1階展示室(約100㎡)

① 上尾の歴史概観

上尾市域の歴史は、約2万年前の旧石器時代にさかのぼります。自然学習館近くにある殿山遺跡からは、2千点を超える石器が出土しました。そして旧石器時代以降、縄文時代を中心に、弥生、古墳、奈良、平安時代などの各時代の生活の痕跡が「遺跡」として、市内各地の河川沿いや湧水地周辺に集中して見つかっています。

コーナー①では、年表や出土物の展示により、上尾の歴史を概観します。

市指定文化財
灰釉草葉文瓶
(小敷谷地区出土)

県指定文化財(複製)
殿山遺跡出土旧石器(畔吉地区出土)

市指定文化財(複製)
古墳出土銅鏡(畔吉地区出土)

② 摘田畑作と農村

上尾市は、現在では人口20万人を超える都市に成長しましたが、かつては農業を基盤とした農村地帯でした。台地上の農業は、水の確保が困難な地形的特徴から畑作が中心で、米作りは台地に刻まれた谷などの低湿地で営まれてきました。このような谷地は田植えに適さない環境であったことから、直接田に種籾を蒔く「摘田」という稲作が昭和40年代まで続けられてきました。

コーナー②では、国指定重要有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」の解説とともに、「摘田」の作業工程ごとにジオラマや記録写真を展示し、「上尾の摘田」を紹介しています。

摘田の工程模型

摘田による田の全景ジオラマ

摘田用具の一つ「唐臼」(複製)

③ 民俗芸能と祭り

市内の各地では季節の折に祭りが行われ、今も伝統的な行事や芸能が連綿と継承されています。

コーナー③では、県指定文化財であり、上尾市の夏を代表する行事の一つである「平方のどろいんきょ」や、畔吉・藤波地区で継承されている「ささら獅子舞」を初めとした民俗芸能、そして祭礼行事を解説や映像で紹介しています。

映像が視聴できるタッチ式モニター

短編映像を再生



摘田の工程の解説



民俗芸能の解説

「上尾の摘田・畑作用具」保存活用計画

1 保存活用計画の内容

(1) 文化財保護法第八十五条の二第1項の規定に準拠して作成する

<抜粋>

第八十五条の二 重要文化財の所有者（管理団体がある場合は、その者）は、文部科学省令で定めるところにより、重要文化財の保存及び活用に関する計画（以下「重要文化財保存活用計画」という。）を作成し、文化庁長官の認定を申請することができる。

2 重要文化財保存活用計画には、次に掲げる事項を記載するものとする。

- 一 当該重要有形民俗文化財の名称及び所在の場所
- 二 当該重要有形民俗文化財の保存及び活用のために行う具体的な措置の内容
- 三 計画期間
- 四 その他文部科学省令で定める事項

(2) 上尾の摘田・畑作用具保存活用検討委員会からの答申

- ・ 上尾市文化財保護審議会と連携を図りながら、計画の作成及び保存環境の整備を進めていく。
- ・ 短期、中期、長期的に取り組む内容を整理して作成する。
- ・ 短期的—環境調査の結果に基づき、現状での保存環境の改善を図る。
- ・ 中期的—保存環境の改善や保管スペースの確保、防火・防犯対策に限界があるため、市の公共施設マネジメントの考え方を踏まえ、既存施設を活用しながら保存環境の充実を図る。
- ・ 長期的—専用の保存施設の整備を図ることが望ましい。なお、整備に際しては、指定文化財を適正に収蔵できる環境を備えた空間と、収蔵した資料を安全に管理するための空間を合わせたものとする。
- ・ 活用に関する計画については、展示や講座だけでなく、体験的な活用や学術資料としての活用等、広く一般に価値が理解される様々な活用法を視野に入れて作成すること。

(3) 計画の構成

- ・ 計画作成の目的
- ・ 文化財の概要
- ・ 現状と課題
- ・ 保存及び活用の基本方針
- ・ 保存及び活用の具体的措置
- ・ 実施計画
- ・ 実施体制

2 現状と課題

- ・「上尾の摘田・畑作用具」が保存されている文化財資料室は、転用可能教室を4教室分 250 m²使用しており、そこに収容できない資料は廊下に配置されている状況である。
- ・資料室は自然空調の中で管理しており、高温となる夏場は整理作業が不可能である。
- ・階下に給食室や学童が設置されていることから、防犯・防火対策が不十分である。

3 短期計画として着手していること

(1) 保存

- ・防犯対策として壁の設置（令和6年度）
- ・各部屋の防犯設備の設置（令和6年度）

(2) 活用

- ・自然学習館の展示リニューアルと合わせ、ロビーでの展示や施設内での講座開催
- ・活用を念頭とした用具収集を継続
- ・普及啓発事業での農具体験
令和5年度 ワークショップ開催
令和6年度 「子ども大学あげお・いな・おけがわ」で自然学習館において摘田に関する講座と合わせ、縄ない体験や種まき、千歯コキでの脱穀作業体験を実施

(3) その他

- ・整理作業、用具のクリーニング、状態確認作業の実施
- ・温湿度の記録
- ・既存施設の利活用を目的とした「上尾市学校施設更新計画」「上尾市公共施設等総合管理計画」との連携を図るための調整

八枝神社文書指定について

1 文書の概要

- (1) 所有者 八枝神社（大字平方）
- (2) 概要 平方上宿地区にある八枝神社(福田家)が所有している近世・近現代文書。文書群の中には八枝神社の歴史や、「お獅子様」の巡回、各地区への貸出記録やフセギ行事、祇園祭についてのものや明治初期に廃寺となった旧正覚寺に関わるものなどがある。近世から近現代にかけての地域社会における信仰・民俗行事のあり方を示す貴重な文書資料であるといえる。

2 文書の内容

平成27年度・令和4年度に「八枝神社文書目録」を刊行し、4,126点の文書を掲載した。

《八枝神社文書内訳概要》

	合計	主な内容
①近世資料	168	旧正覚寺関係、福田良中関係（上総国時代）
②近現代資料		
└ 神社関係	869	明治初期神社行政関係（含復飾関係）、旧氷川神社関係、旧老袋氷川神社関係、橘神社関係
└ 平心講関係	1,085	巡廻、代参、大祭、寄附金関係
└ 町内関係	120	福田弥吉役職関係（町学務委員、平方上宿衛生組合・公義会組長、町内）
└ 福田家関係	1,175	福田家関係（出納簿、家族・親族関係、訴訟関係、書簡類）
③祝詞	400	
④典籍・図書・出版物	252	
⑤書画の部	57	
合計	4,126	

3 文化財指定に向けた検討

整理・分類を行った「八枝神社文書」約4,126点の内から、内容や年代等を基に、文書群としての資料的価値を示す文書を選別し、指定文化財としていく範囲の検討を実施。

- (1) 指定方針

「お獅子様」に関する文書を中心としつつ、八枝神社が地域社会に果たしていた役割を勘案し、神社関係文書や町内関係文書、また社家である福田家の文書を中心に指定に含めていく。

(2) 指定の範囲

「お獅子様」は現代まで継続されている行事であり、「八枝神社文書」には平成初期までの文書が含まれている。年代や内容を元を選別し、指定範囲を定めていく。

●年代について

- ・「お獅子様行事」の形態には、1日単位で1から数か村に貸し出す形態と、長期間にわたって複数の村を巡廻する形態があり、記録から大正から昭和初期が最盛期と考えられる。長期間にわたる貸し出しは昭和10年代を境に記録がなくなり、1日単位の貸し出し形態が継続されていく。

- ・行事の記録としては、いくつか存在するが特に「昭和四十八年五月改 出興並代参帳（昭和47～61年度）」(No.2341)は行事の変遷を確認する上では重要な資料である。
- ・併せて、平方上宿地区の民俗行事である「平方のどろいんきょ」の本格的な復活が昭和48年である。
 - ➡以上を考慮し、現代における八枝神社を中心とする地域行事が成立する昭和50年までを年代的な指定範囲とする。

●分類について

- ・八枝神社社家である福田家の個人的な文書も多く含まれるが、現在の八枝神社成立をたどるためには重要な資料である。
- ・典籍類は神社運営以外の資料も多く、写真や書画も同様である。
 - ➡八枝神社に関わる文書は幅広く指定範囲含めていくが、神社や行事に関する重要な資料以外は、基本的には指定には含めないものとする。

4 文化財指定に向けたスケジュール案

令和6年度第2回会議で諮問予定

八枝神社^{もんじよ}文書

【経緯・概要】

近世期の平方村に所在した天台宗正覚寺（現在の観音堂付近）住職から現在の平方上宿地区に鎮座する八枝神社の宮司となった福田家（現宮司福田文彦氏）所蔵の文書群である。

文書類は、大きく①八枝神社の前身である旧正覚寺関係、②八枝神社初代宮司福田良中の上総国時代関係、③明治初期の神社行政関係（含復飾関係）、④旧氷川神社・橘神社関係、⑤狛狗大神関係、⑥平心講関係、⑦第二代宮司福田弥吉役職関係（町学務委員、平方上宿衛生組合・公義会組長、町内）、⑧福田家関係（出納簿、家族・親族関係、訴訟関係、書簡類）、⑨祝詞類、⑩その他典籍類、絵葉書、書画類に分けられる。

このうち、指定対象とするのは八枝神社の神輿で行うどろいんきよの祭りが復活した昭和 50 年を一つの区切りと考え、昭和 51 年以降及び明らかに八枝神社との直接的な関連性が認められない文書類等を除く総計〇〇〇〇点の文書群である。

どろいんきよは、もともと 7 月 14 日、15 日の祇園祭にお獅子様、神輿、いんきよ神輿が相次いで平方四地区（上宿、南、下宿、新田）を廻る祭礼の中で行なわれた行事であったが、大正 12 年の祭りを最後に平方四地区合同で行われることはなくなった。

しかし、八枝神社の信仰の中心であるお獅子様は、元々旧正覚寺付属であった牛頭天王社（または天王社とも）付属のものとして、江戸時代から連綿として信仰されてきたものであり、大正 12 年以降も絶えることなく行われ、神社に参詣して拝むばかりでなく、直接信者の住む各地区に借り出されたり、あるいは異なる複数の町村を越えて巡廻するという形態がとられていた。

このように、八枝神社の特徴は江戸時代の正覚寺時代から引き継がれた「狛狗大神（はっくだいじん）」と呼ばれる獅子頭を有する「お獅子様」の神社として、市域内外の広範な地域で講が生まれ、信仰を集めてきたという点にある。神社文書のなかには、直接この行事の形態や詳細な内容を伝える文書は含まれていないが、行事の行なわれた時代や地域を記した文書は数多く残されている。これにより、各地域における行事の様相を側面から捉

えることができるとともに、近世から近代への移り変わり、昭和戦中期から戦後期への移り変わりなど、時代の変遷の中での行事の様相を伺い知ることができる。

また、同神社の文書群はこれだけにとどまらず、明治初期から大正・昭和戦前期にかけての平方村役場との往復文書、八枝神社の会計書類等を数多く含んでいる。このように、八枝神社文書は「お獅子様」行事のみならず、明治初期の平方村における神仏分離の過程、近世から明治・大正・昭和戦前期にかけての八枝神社及び氷川神社・橘神社の歴史、神社との関わり合いの中での村の様子の変遷、を知る上で欠かせない多彩な内容を含んだ貴重な文書群といえる。